

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
関係法規・制度		美容学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	村上 正志(実務経験有)
授業の概要				
<p>日本の法制度の簡単な仕組みを理解させる。            法と行政組織の関わり方を理解し、行政の処分に関する知識を習得する。            国と地方の行政施策の仕組みと国民に対する役割を理解する。            美容業に対する行政の監理並びに権限について理解する。            美容師として最低限遵守すべき法令について理解する。</p> <p>【実務経験】 村上 正志 : 行政書士として42年の実務経験            これまでの経験や知識を活かし美容師法を中心に法規を理解させる。</p>				
授業終了時の到達目標				
美容師として営業活動を行うについて派生する権利義務を法から見た考え方を理解する。 美容師法中心とした法体系を理解し試験科目としての知識を得る。				
回	テーマ	内容		
1	法制度の概要	社会生活における法の役割		
2	法制度の概要	日本国憲法下の法整備		
3	法制度の概要	衛生法規の概要		
4	衛生行政の概要	法と行政		
5	美容師法	美容師法の目的と歴史		
6	美容師法	美容師法の体系		
7	美容師法	美容師法の用語定義		
8	美容師法	美容師試験		
9	美容師法	美容所		
10	美容師法	管理美容師		
11	美容師法	行政の立ち入り検査		
12	美容師法	行政処分		
13	美容師法	罰則		
14~ 15	関連法規	衛生関係及び営業の適正化に関する法令 その他関連法令		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・制度		期末試験 授業態度 確認テスト 出席率	40.0% 10.0% 30.0% 20.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理Ⅱ		美容学科/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	井川 泉(実務経験有)

## 授業の概要

美容所における施設、設備、器具など衛生的管理及び消毒並びに従業者の健康管理の措置により、美容に関する衛生の向上及び確保を図ることを学ぶ。

【実務経験】井川泉：美容師として13年の実務経験  
美容室での衛生管理の必要性を指導する

## 授業終了時の到達目標

国家試験合格

回	テーマ	内容
1~ 2	感染症	人と感染症 感染症発見の歴史 感染症と法律 感染症の分類
3~ 4	感染症	病原微生物 微生物の種類、大きさ、形、構造、増殖と環境
5~ 6	感染症	感染症の予防 感受性、汚染、感染、発病、常在細菌、免疫、予防の3原則
7~ 9	感染症の各論	主な感染症 空気、飲食物、血液、動物を介して感染する感染症
10~ 11	消毒法	消毒とは
12~ 13	消毒法	消毒の意義
14~ 15	消毒法	理容美容の業務と消毒との関係
16~ 17	消毒法	消毒法と適用上の注意
18~ 19	消毒法各論	理学的消毒法
20~ 21	消毒法各論	化学的消毒法
22~ 23	消毒法各論	優れた消毒法とその実施上の注意
24~ 25	消毒法実習	各種書毒薬
26~ 27	消毒法実習	理容所、美容所の消毒の実際
28	消毒法実習	理容所、美容所の清潔法の実際
29	期末試験	期末試験

回	テ ー マ	内 容		
30	期末試験 解答と解説	期末試験解答と解説		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
衛生管理		期末試験	100.0%	【準備学習】前回の復習をし、授業内容を踏まえて教科書を読んでおく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健Ⅱ		美容学科/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	足立 眞一(実務経験有)

## 授業の概要

皮膚とその付属器官についての一層の理解を深める。

【実務経験】 足立 眞一 : 薬剤師として46年の実務経験  
これまでの経験や知識を活かし皮膚の構造や疾患をわかりやすく理解させる。

## 授業終了時の到達目標

皮膚及びその付属器官の構造、生理機能、保健、疾病について理解する。

回	テーマ	内容
1	皮膚の構造	皮膚の表面
2	皮膚の構造	皮膚の断面
3	皮膚の構造	表皮 表皮と真皮の境
4	皮膚の構造	真皮 皮下組織
5	皮膚の構造	皮膚の部位差
6	皮膚付属器官の構造	毛 脂腺(皮脂腺)
7	皮膚付属器官の構造	汗腺 爪
8	皮膚の循環器系と神経系	皮膚の血管
9	皮膚の循環器系と神経系	皮膚のリンパ管
10	皮膚の循環器系と神経系	皮膚の神経
11	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	対外保護作用 体温調節作用
12	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	知覚作用と皮膚反射 分泌排泄作用
13	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	呼吸作用 吸収作用
14	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	貯蔵作用 免疫・解毒・排除作用
15	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	ビタミンD形成作用 表情作用

回	テーマ	内 容		
16	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	再生作用 毛のはたらき		
17	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	爪のはたらき		
18	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態 皮膚と精神		
19	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と栄養 皮膚とし好品		
20	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と体内病変 皮膚の水分と脂の状態		
21	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚・付属器官とホルモン 皮膚の保護と手入れ		
22	皮膚と皮膚付属器官の保健	毛の保護と手入れ		
23	皮膚と皮膚付属器官の保健	爪の保護と手入れ 子どものおしゃれによる皮膚のトラブル		
24	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因 皮膚疾患の治療法		
25	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹 口唇の疾患 温熱・寒冷による皮膚障害		
26	皮膚と皮膚付属器官の疾患	角質異常による皮膚疾患 色素異常による皮膚疾患 血管腫		
27	皮膚と皮膚付属器官の疾患	脂腺母斑 下肢静脈瘤 分泌異常による皮膚疾患		
28	皮膚と皮膚付属器官の疾患	化膿菌による皮膚疾患 ウイルスによる皮膚疾患 真菌による皮膚疾患		
29	皮膚と皮膚付属器官の疾患	衛生害虫による皮膚疾患 感染症の皮膚疾患予防		
30	皮膚と皮膚付属器官の疾患	毛と爪の疾患 皮膚の腫瘍		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 保健		期末試験 出席率	95.0% 5.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書・ノートを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
香粧品化学Ⅱ		美容学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大南 朋子
授業の概要				
美容師の業務を行う上で必要な香粧品学の基礎知識について学習する 香粧品化学が美容技術において基盤となることを理解する 過去問を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける 美容国家試験合格				
回	テーマ	内容		
1	導入～授業の概要説明 1章 香粧品概論 1節 香粧品の社会的意義と品質特性	導入 香粧品の社会的意義と品質、必要条件について		
2	1章 香粧品概論 2節 香粧品の規制 3節 香粧品の安定性と取扱い上の注意	香粧品の定義、製造販売の規制、品質等の規制、表示広告の規制について 香粧品の安定性、経時変化、使用上、取扱い上の注意について		
3	1章 香粧品概論 4節 香粧品と安全性 2章 香粧品用原料 1節 香粧品の対象となる人体各部の性状	香粧品と安全性、表示成分と安全性、香粧品によるトラブルについて 香粧品の種類と昨日、皮膚と水、頭皮や毛髪の健康な状態、爪の性状、まぶたや口唇の性状、香粧品のなりたちについて		
4	2章 香粧品用原料 2節 水性原料 3節 油性原料	水性原料である、水、エタノール(エチルアルコール)について 油性原料である、油脂、ロウ類、炭化水素、その他の油性原料、油性原料の機能について		
5	2章 香粧品用原料 4節 界面活性剤	界面活性剤の基本的性質、種類、香粧品への応用について		
6	2章 香粧品用原料 5節 高分子化合物 6節 色材	高分子化合物の種類と特性、香粧品への応用について 色材と香粧品、無機顔料、有機合成色素(タール色素)、光輝性顔料(パール顔料)、天然色素について		
7	2章 香粧品用原料 7節 香料 8節 その他の配合成分	香料と香粧品、香料の種類、調合香料について 香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分、香粧品配合成分があたえる機能、その他の特殊成分について		

回	テーマ	内容		
8	2章 香粧品用原料 9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 3章 基礎香粧品 1節 皮膚清浄用香粧品	合成樹脂、接着剤、塗料について 皮膚の汚れと性状作用、石けんの種類とその性質、その他の清浄剤について		
9	3章 基礎香粧品 2節 化粧水 3節 クリーム・乳液	化粧水の種類と機能性について クリーム・乳液の皮膚への作用、クリームの種類と機能、乳液の種類と機能について		
10	3章 基礎香粧品 4節 その他の基礎香粧品 4章 メイクアップ用香粧品 1節 メイクアップ用香粧品の種類と剤形 2節 ベースメイクアップ香粧品	シェ、ービング用香粧品（理容）、化粧液（美容液、美容エッセンス）、打粉（ベビーパウダー）類、パック剤について メイクアップ用香粧品の種類と剤形について ベースメイクアップ香粧品、おしろい（白粉）類、ファンデーション類について		
11	4章 メイクアップ用香粧品 3節 ポイントメイクアップ香粧品 5章 頭皮・毛髪用香粧品 1節 シャンプー剤	ポイントメイクアップ香粧品の紅類、アイメイクアップ香粧品、ネイル技術用香粧品類（マニキュア製品）について シャンプー剤について		
12	5章 頭皮・毛髪用香粧品 1節 シャンプー罪 2 ヘアリンス剤 2節 スタイルング剤	ヘアリンス剤、ヘアトリートメント剤について スタイルング剤の機能、油性スタイルング剤、液状スタイルング剤、高分子物質を基材とするスタイルング剤について		
13	5章 頭皮・毛髪用香粧品 3節 パーマ剤	パーマ剤の原理、分類、パーマ剤第1剤、パーマ剤第2剤、パーマ剤の使用上の注意について		
14	5章 頭皮・毛髪用香粧品 4節 ヘアカラー製品 5節 育毛剤	ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム、一時染毛料、半永久染毛料、脱色剤・脱線剤、永久染毛剤、ヘアカラー製品の使用上の注意、その他のヘアカラー製品について 脱毛の原因、育毛剤の種類と機能、育毛・養毛剤の原料について		
15	6章 芳香製品と特殊香粧品 1節 芳香製品 2節 特殊香粧品	香水、オーデオロン、その他の芳香製品、芳香製品の効用と使用上の注意について サンケア製品、美白用香粧品、制汗・防臭剤、ニキビ用香粧品について		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本理容美容教育センター 香粧品化学		期末試験	100.0%	・主体的に授業参加し学習する。 【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書・ノートを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論Ⅱ		美容学科/2年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	46回	6単位(92時間)	必須	大杉 和人(実務経験有)

## 授業の概要

美容技術を裏付ける基本的理論を習得する  
 技術理論を把握することにより技術が成り立つことを理解する  
 美容師試験合格を目指し、過去問題などにより応用力をつける

【実務経験】 大杉 和人 : 美容師として3年の実務経験  
 これまでの美容経験を活かし美容理論を理解させる

## 授業終了時の到達目標

美容師国家試験合格

回	テーマ	内容
1	エステティック	エステティック概論 皮膚の生理と構造
2	エステティック	カウンセリング 美容におけるマッサージ理論
3	エステティック	フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ
4	エステティック	フェイシャルパック ボディケア ボディマッサージ
5	ネイル技術	ネイル技術理論 ネイル技術の種類
6	ネイル技術	爪の構造と機能 爪のカット形状
7	ネイル技術	ネイル技術と公衆衛生 カウンセリング
8	ネイル技術	ネイルケア アーティフィシャルネイル 手と足のマッサージ
9	メイクアップ	メイクアップ概論 顔の形態学的な観察
10	メイクアップ	メイクアップと色彩 皮膚の生理と構造
11	メイクアップ	メイクアップの道具 スキンケア
12	メイクアップ	ベースメイクアップ アイメイクアップ
13	メイクアップ	アイブロウメイクアップ リップメイクアップ
14	メイクアップ	ブラッシュオンメイクアップ まつ毛エクステンション
15~ 17	メイクアップ	まつ毛エクステンション



回	テ ー マ	内 容		
18	日本髪	日本髪の由来 日本髪の各部の名称		
19	日本髪	日本髪の種類と特徴 日本髪と調和		
20	日本髪	日本髪の装飾品 日本髪の結髪道具		
21	日本髪	日本髪の結髪技術 日本髪の手入れ かつら		
22	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼服		
23	着付けの理論と技術	着物と季節 着物のいろいろ		
24	着付けの理論と技術	帯 小物		
25	着付けの理論と技術	着物各部の名称 着物のたたみ方		
26	着付けの理論と技術	着付けの一般的要領 留袖着付け技術		
27	着付けの理論と技術	振袖着付け技術 帯締め、帯揚げの結び方		
28	着付けの理論と技術	男子礼装羽織、袴着付け技術 羽織のひもの結び方		
29	着付けの理論と技術	女子袴着付け技術 婚礼着付けの際の注意事項		
30	着付けの理論と技術	和装花嫁 洋装花嫁		
31～ 46	国家試験対策			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論2		期末試験 授業態度 出席率	80.0% 10.0% 10.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運営管理		美容学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大杉 和人(実務経験有)
授業の概要				
美容師として仕事を進めていく上で、接客の役割、心構え、美容業経営戦略・マーケティング、労務管理を理解し身に付ける				
【実務経験】 大杉 和人 : 美容師として3年の実務経験 これまでの経験や知識を活かし美容室の経営や運営を理解させる				
授業終了時の到達目標				
実際の仕事を始めた時に起きる問題に前向きに向き合える意識を習得する				
回	テーマ	内容		
1	第1編 経営者の視点	経営とは・経営者とは		
2	第1編 経営者の視点	理容業・美容業の経営について		
3	第1編 経営者の視点	資金の管理		
4	第2編 人という資源 従業員としての視点	人という資源		
5	第2編 人という資源 従業員としての視点	健康・安全な職場環境の実現		
6	第2編 人という資源 従業員としての視点	従業員としての視点から		
7	第3編 顧客のために	サービス・デザイン		
8	第3編 顧客のために	マーケティング		
9	第3編 顧客のために	サービスにおける人の役割		
10~15	国家試験対策	国家試験対策		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容運営管理		期末試験 授業態度 出席率	80.0% 10.0% 10.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえて教科書・ノートを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習Ⅱ		美容学科/2年	2020/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	241回	16単位(482時間)	必須	大杉 和人(実務経験有) 森東 啓二(実務経験有) 角山 永代(実務経験有)
授業の概要				
<p>ワインディングオールパーパスの技術を基に、国家試験課題のワインディング技術(デザイン巻き)を学び、国家試験に合格する実力を身につける オールウェーブのタイムを縮めるとともに完成度を上げる 国家試験課題のカットングをブロッキングから仕上げまで習得する</p> <p>【実務経験】 大杉 和人 : 美容師として3年の実務経験 森東 啓二 : 美容師として27年の実務経験 角山 永代 : 美容師として7年の実務経験 これまでの美容経験を活かし技術の基礎を身に付ける</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>国家試験合格 校内、校外コンテストに入賞できる実力をつける</p>				
回	テーマ	内容		
1~5	ワインディング デザイン巻き	ブロッキング		
6~10	ワインディング デザイン巻き	オンベース		
11~15	ワインディング デザイン巻き	1/2オフベース		
16~50	ワインディング デザイン巻き	全頭20分		
51~54	カット	シザーズの使い方 手入れ方法		
55~60	カット	ブロッキング		
61~65	カット	ガイドのカット		
66~70	カット	ワンレングスカット		
71~75	カット	グラデーションカット		
76~80	カット	レイヤーカット		
81~100	カット	国家試験課題を20分で仕上げる		
101~110	ウェーブ ピンカール	スカルプチェアカール		
111~115	ウェーブ ピンカール	リフトカール		

回	テ ー マ	内 容		
116 ～ 120	ウェーブ ピンカール	メイポールカール		
121 ～ 125	ウェーブ ピンカール	クロッキノールカール		
126 ～ 150	オールウェーブ	国家試験課題25分で仕上げる		
151 ～ 200	国家試験課題	第一課題 第二課題		
201 ～ 241	衛生上の注意事項	準備時間中の注意事項 作業時間中の注意事項		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益財団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 美容実習		期末試験 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロンワーク		美容学科/2年	2020/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	73回	4単位(144時間)	必須	大杉 和人(実務経験有) 森東 啓二(実務経験有)
授業の概要				
基本手技の基礎知識を学習する サロンワークに対応できる基礎技術を学習する				
【実務経験】 大杉 和人 : 美容師として3年の実務経験 森東 啓二 : 美容師として27年の実務経験 これまでの美容経験を活かし実践的な技術を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
サロンワークで役立つ知識、技術を習得する				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	シャンプーイング	クロス掛け ブラッシング		
3~ 5	サイドシャンプー	すすぎ シャンプーイング		
6	サイドシャンプー	リンス タオルドライとターバン		
7~ 10	サイドシャンプー	相モデルで練習		
11~ 13	バックシャンプー	すすぎ シャンプーイング		
14	バックシャンプー	リンス タオルドライとターバン		
15~ 18	バックシャンプー	相モデルで練習		
19~ 23	カッティング	ワンレングスカット		
24~ 28	カッティング	グラデーションカット		
29~ 33	カッティング	レイヤーカット		
34~ 38	カッティング	セიმレングスカット		
39~ 43	カッティング	レザーカット		
44~ 73	パーマメントウェービング	ブロッキング ワインディング		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容実習1		期末試験 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
まつ毛エクステンション		美容学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	井川 泉(実務経験有)
授業の概要				
お客様の安心、安全を何より重視し健康被害のリスク等情報を提供できる技術者となる。				
【実務経験】井川泉：美容師として13年の実務経験 美容室での衛生管理の必要性を指導する				
授業終了時の到達目標				
技術者認定試験の合格を目指す。				
回	テーマ	内容		
1	導入 概論 まつ毛エクステンションの用具	まつ毛エクステンション概論 備品・道具・用材・材料		
2	衛生管理	病原微生物 殺菌、消毒、滅菌、防腐、除菌		
3	衛生管理	消毒の種類、手順、手指消毒、滅菌の種類		
4	保健	眼に関する知識 皮膚に関する知識 まつ毛に関する知識		
5	カウンセリング	カウンセリングの目的 注意と説明事項		
6~ 7	カウンセリング	カウンセリングの実際		
8~ 9	理論	理論の復習と筆記対策		
10	実技	事前準備 テーブルセッティング		
11~ 13	実技	エクステンションの装備		
14~ 15	実技	エクステンションのリムービング		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ABE text book		確認テスト 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル		美容学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	選択	尾形 香代(実務経験有)
授業の概要				
ジェルネイル技能検定試験初級に必要なジェルネイルの技能及び知識				
【実務経験】 尾形 香代 : ネイリストとして18年の実務経験 日本ネイリスト協会本部認定講師の経験を活かしネイルの技術と知識 を理解させる				
授業終了時の到達目標				
ジェルネイル技能検定試験初級の取得				
回	テーマ	内容		
1	ジェルとは	ジェルの内容成分、硬化の仕組みなど教材説明		
2	ジェルの塗り方と注意点 デモンストレーション	ジェル塗布前のケアの仕方 ジェル塗布の仕方 ジェルを取り除く方法		
3~ 6	ジェルの実習	相モデルでのケア、ジェル塗布、ジェルオフまで		
7~ 8	ジェルを使ったアート	ジェルを使ってのアート練習		
9	ジェルネイル技能検定試験の説明	試験要項の説明、手順、デモンストレーション		
10~ 15	試験内容の練習	相モデルでのケア、ジェル塗布、ジェルオフまで		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 実習・実技評価 期末試験	10.0% 30.0% 30.0% 30.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ブライダル		美容学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	選択	齋藤 佳容子(実務経験有)
授業の概要				
ブライダルシーンにおけるヘアメイク、着付けの技術と知識を身に付ける。				
【実務経験】 齋藤 佳容子 : 美容師として31年の実務経験 これまでの美容経験を活かし着付けやメイクを理解させる。				
授業終了時の到達目標				
美容師として婚礼のお支度や参列者のヘアメイク、及び着付けができるようになる。				
回	テーマ	内容		
1	導入 着付け	概要の説明 着付け小物の名称、用途の説明 着物、長襦袢のたたみ方		
2	着付け	留袖・訪問着・付け下げの着付け手順説明 講師によるデモンストレーション 留袖・訪問着・付け下げの着付け練習(相モデル)		
3	着付け	袋帯の結び方(二重太鼓) 留袖・袴の着付け(相モデル)		
4	着付け	袴用の着付けと半幅帯の結び方 袴の着付け(男性)		
5	着付け	振袖の着付け 講師によるデモンストレーション		
6~ 8	着付け	花嫁着付け		
9~ 10	ヘアメイク	成人式及び結婚式参列者ヘアアレンジ・メイク		
11~ 12	ヘアメイク	洋装花嫁ウェディングドレスのヘアスタイル・メイク		
13	ヘアメイク	カクテルドレスのヘアメイク・メイク		
14~ 15	花嫁	和装花嫁メイク かつらの扱い		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容実習2		出席率 授業態度 確認テスト 課題・レポート 実習・実技評価 期末試験	30.0% 20.0% 10.0% 10.0% 10.0% 20.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえて教科書・ ノートを用いて予 習する



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステ		美容学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	選択	石黒 なつみ(実務経験有)
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・応用ボディ・フェイシャル</li> <li>・化粧品の知識</li> <li>・コンサルティング</li> </ul> <b>【実務経験】石黒 なつみ:</b> セラピストとして1年半勤務経験 現場における接客の流れ、技術を指導				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様への心配りを第一に考えた接客ができるようになる。</li> <li>・自分自身のケアを積極的に行い、日ごろからメンテナンスする意識をもつ。</li> </ul>				
回	テーマ	内容		
1	授業概要説明 コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルティングとカウンセリング</li> <li>・基本のコンサルティング お客様の情報 肌分析 ケアプランニング ホームケアアドバイス</li> <li>・肌悩みとその主な要因、ケア方法</li> </ul>		
2~3	コンサルティング実践	相モデルでフェイシャルのコンサルティング		
4~5	フェイシャル(マスク)	ディープクレンジング モデリングマスク		
6~7	下肢トリートメント(リラク)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体がむくむ要因、仕組み</li> <li>・マッサージオイルの特徴と使い分け</li> <li>・下肢のリンパ</li> </ul>		
8~9	下肢トリートメント(痩身)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・痩身エステの特徴</li> <li>・「太る」原因</li> <li>・サロンでできること</li> <li>・痩身マッサージ、使用する化粧品の特徴</li> </ul>		
10	オールハンドトリートメント(指圧)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オールハンドによるマッサージ</li> <li>・骨格と筋肉の理解 頭部・腰背部</li> </ul>		
11~12	背面オイルトリートメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・背面 リラクゼーショントリートメント</li> <li>・アロマセラピーの知識</li> </ul>		
13~14	背面トリートメント(痩身)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰背部 痩身トリートメント</li> <li>・痩身エステの知識</li> <li>・正しい姿勢について</li> <li>・ウエスト回りに特化した運動</li> </ul>		
15	ボディ機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低周波機器</li> <li>・ハンドパラフィン</li> </ul>		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 実習・実技評価	10.0% 30.0% 60.0%	<b>【準備学習】</b> 前回の授業内容をもとに、家庭での復習を行う。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		美容学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	必須	大杉 和人
授業の概要				
3KAN教育の後半として、就職活動を通して社会人に必要なスキルを身につける				
授業終了時の到達目標				
1)3KAN教育(1.自己効力感 2.成長実感 3.学び続ける習慣)により企業が求める人材を育成する 2)基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3)目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
回	テーマ	内容		
1	就職活動の動きを知る	1. 就職活動の動き 2. 求人票の見方 3. 企業訪問 4. 就職試験 5. 企業が欲しい人材 6. 自己分析		
2	実社会をシミュレーション(疑似体験)	①PDCA 社会人に求められるもの ほう・れん・そう → かく・れん・ぼう 5W3H ②PDCA 学習における『PDCA』 日常における『PDCA』 新社会人における『PDCA』		
3	実社会をシミュレーション(疑似体験) 討論(聴く、考える、話すの訓練)	ディスカッション (インバケット思考)		
4	就職や社会におけるSNSの活用	(前半) 1. SNSとはどのようなものか 2. SNSを利用した就職活動の方法例 3. SNSの利用を誤った場合の失敗例 (後半) ・著作権とは? ・肖像権とは? ・SNSへ画像や動画を投稿する際の注意点		
5	人と人が力を合わせて、問題解決する (グループワーク)	～聴く力をつけ、いい質問をする～ 1. グループワーク 2. Win-Winの関係 3. 7つの習慣		
6	働くことの基礎知識～労働・給与・税金～	給与計算の基礎知識 ・給与に関する法律 ・給与支払いの5原則 ・給与明細の見方 ・残業時間の計算 ・法定労働時間と変形労働時間制 ・残業時間を計算する ・時間外労働の割増率 ・税金について		
7	新聞の読み方	徳島新聞社		

8	就職するにあたっての準備や心構え	ジョブカフェ徳島		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未来創造手帳</li> <li>・ 各コマごとに配布するプリント</li> </ul>	出席率	100.0%	<b>【準備学習】</b> 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
就職実務		美容学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	0単位(50時間)	必須	
授業の概要				
【就職事前学習】 ①就職活動に向けて士気を高める ②就職活動に必要な心構えを持たせる ③今まで学んできたことのまとめを行い、就職合宿でプレゼンテーションが上手くいくよう、立ち居振る舞いから応答内容までの完成を目指す				
授業終了時の到達目標				
回	テーマ	内容		
1~15	就職事前学習	就職事前学習		
16~25	就職合宿	就職合宿		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
就職の手引き		出席率	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インターンシップⅡ		美容学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	
授業の概要				
美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、職場を通して実践する				
授業終了時の到達目標				
職場を知り、仕事を知り、働く人間を知る 自らの将来を展望する 職業人として『働く意味』『やりがい』『規律』『チームワーク』『マナー』の習得				
回	テーマ	内容		
1~15		接客、清掃等様々なサロン内業務を通して職場を知る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	